

第69回「電波の日」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略:五十音順)

被表彰者	主な功績
<small>あだち ふみゆき</small> 安達 文幸 東北大学 特任教授	永きにわたり移動無線通信分野において超高速移動無線通信技術の研究に従事し、我が国における第5世代移動通信システムの実現に向けた研究開発や技術的条件の策定に多大な貢献をされました。
<small>たなか しゅうじ</small> 田中 秀治 東北大学大学院工学研究科 教授	戦略的情報通信研究開発推進事業を通じて超高周波帯における弾性波デバイス技術を見いだすとともに、これを活用したフィルタの開発・実用化に尽力するなど、電波の有効利用促進に多大な貢献をされました。

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
石巻市立病院 <small>しいば けんいち</small> (病院長 椎葉 健一)	陸上自衛隊東北方面隊が主催した大規模実動防災訓練「みちのくALERT2018」において、医療通信の確保訓練に積極的に協力し衛星携帯電話を用いた通信確保に取り組むなど、地域の防災体制強化に多大な貢献をされました。
一般社団法人 オナガワエフェム <small>まつき たつのり</small> (代表理事 松木 達徳)	平成30年北海道胆振東部地震の被災地に出向き、むかわ町及び厚真町の臨時災害放送局の開局と運営を支援し、被災地の生活の復旧・復興に大きく貢献をされました。
先進ロジスティクス交通システム 研究プロジェクト <small>まつき ひでとし</small> (プロジェクトリーダー 松木 英敏) (松木英敏 東北大学未来科学技術共同研究センター教授)	ドローンや自動走行などの近未来技術をさまざまな地域特性に対応した実証事業を提案し、その実用化に取り組むなど、東北地域において電波利用による Society5.0 の実現に向けて多大な貢献をされました。
東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本総合研修センター <small>ももせ たかし</small> (センター所長 百瀬 孝)	永年にわたり無線従事者養成課程を実施し、その円滑な運営に尽力されるとともに毎年千人規模の修了者を輩出するなど、電波利用の秩序維持と発展に多大な貢献をされました。
南相馬市 <small>もんま かずお</small> (市長 門馬 和夫)	平成23年3月の原子力災害から避難した住民に対し必要な情報を提供することにより、避難住民の絆を維持する手段として南相馬チャンネルを整備し、これを順次視聴区域の拡張を行うなど、地域の復興に多大な貢献をされました。